

第2学年	理科A 理科B	使用教材	未来へひろがるサイエンス2(啓林館) 理科の自主学習(新学社) 基礎徹底64(新学社)
------	------------	------	--

<学習の目標>

- ・自然の事物・現象についての観察、実験などを行い、それらに関する知識や、科学的に探究するために必要な観察、実験の技能を身に付ける
- ・自然の事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、科学的な思考力、判断力、表現力等を育成する
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度や生命の尊重、自然環境の保全に寄与する態度を育て、更には自然を総合的に見ることができるようにする

授業のポイント	・私たちの身の回りの自然事象に対する疑問を大切にする。 ・自分で予想を立て、観察や実験を行う。 ・観察や実験の結果をきちんと記録する。 ・予想と結果との対比や、自分の考えを記録として残す。
家庭学習について	・復習を大切にする。授業で学習した内容は、その日のうちに15分間でよいので復習する。 ・單元ごとに問題集を解き、わからなかった問題を何回も繰り返す。
テストについて	・定期テスト ・小テスト

評価の観点	判断基準について
自然の事象に関心を持ち、自ら進んで調べ考えようとする。	ノート・ファイル・提出物
自然の事象を論理的・分析的に考察して問題を解決し、説明や発表等を行うことができる。	定期テスト・実験レポート
観察や実験で、操作・結果のまとめを適切に行うことができる。	定期テスト・実験レポート
自然の事象の規則性や基本用語を理解し、知識を身につけている。	定期テスト・小テスト

<2学期>

理科A

月	学習内容	付けさせたい力	課題
9	・動物の生活とからだのつくり	・感覚器官のつくりやはたらきを理解する。	・理科の自主学習 ・ファイル ・ノート ・
10		・中枢神経、末しょう神経、神経系のつくりと行動のしくみについて理解する。	
11	・動物のなかま	・反応や反射について正しく理解する。	
12		・骨格と筋肉について知り、からだを動かすときのしくみを理解する。	
		・せきつい動物は五つのグループに分けられ、それぞれのグループの特徴を理解する。	
		・節足動物や軟体動物の体のつくりの特徴を理解する。	
		・いろいろなせきつい動物の骨格を調べ、共通点を見いだす。	
		・中間的な生物を知り、生物が長い年月をかけて進化してきたことを理解する。	

理科B

月	学習内容	付けさせたい力	課題
9	活きている地球 ・大地が火をふく	・さまざまな火山の活動を調べ、火山活動の様子はマグマの性質が深く関係していることを考えたり、マグマからできる火成岩や鉱物の観察を通して、その特徴を理解したりすることができる。	・理科の自主学習 ・ノート
10	大地は語る	・流水のはたらきによって、土砂が浸食、運搬、堆積することで地層ができることを理解する。堆積した土砂が長い年月をかけて堆積岩に変化することや、堆積岩の種類や特徴を理解する。地層を観察する中で、柱状図を作成したり、示準化石・示相化石から地層が堆積した当時の時代や環境を推定したりすることができる。	・理科の自主学習 ・ノート
11			
12			

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」

予想を立てて実験を行い、結果から考察を互いに深め合う